

登米市のできごと
おしらせします！

TOPICS

無事故を願い市内各地 で交通安全運動

市交通安全宣言大会・ 幼稚園児の交通安全教室

秋の交通安全県民総ぐるみ運動の一環として、市内各地で交通安全の催しが実施されました。

中田町のなかだアリーナでは、市交通安全宣言大会（市交通安全対策協議会主催）が9月27日に開催され、市内の交通安全団体、企業、小中学

校などから約600人が参加しました。

布施市長は「今年、市内では交通事故で13人の方が亡くなっています。交通事故は被害者がつらい思いをすることと問われることとなります。一人ひとりが当事者意識を持つ



交通安全宣言を行い事故防止を誓いました



宮城県警察音楽隊によるふれあいコンサート



園児たちは正しい動作で横断歩道を渡りました



白バイの体験搭乗もしました

て注意してほしい」とあいさつしました。

大会では、小学生、母親、高齢者、運転者それぞれの代表が誓いの言葉を発表。参加者全員で交通安全宣言を行い、事故防止を誓いました。

誓いの言葉を発表した新井涼太君（宝江小6年）は、「とても緊張したけれど、きちんと発表できて良かった。誓ったことは、これからもずっと守り続けます」と話しました。

また、宮城県警の警察音楽隊とカラーガード隊によるコンサートやマジックショーが開かれました。

9月21日には、迫町の北宮城自動車学校で、幼稚園児の

交通安全教室（同校主催）を実施。米山西幼稚園年長児童約60人が参加し、佐沼警察署員、市消防本部職員、自動車学校職員が指導に当たりました。

園児たちは、正しい横断歩道の渡り方を体験。左右を見て車が来ないことを確認し、大きく手を上げて渡りました。また、車輛と人形を使った横断中の接触事故の見学や白バイ、消防車などに体験搭乗もしました。

教室に参加した小竹洗稀君と泉由佳ちゃんは「交通事故はとても怖いと思った。家に帰っても、交通ルールを守ります」と元気に話しました。

紅白もちを豪快にまく

津山で生きなもちまき大会



紅白のもちが豪快にまかれました

もくもく生きなもちまき大会（協同組合もくもくランド主催）が10月16日、もくもくランドで開かれ、市内外から多くの観光客が訪れました。もちまき大会は、2年前に産直施設やクラフトショップ

などを併設した建物のリニューアルオープン記念として開催され、今年で3回目。紅白のもち約3000個が用意され、午前と午後の2回、屋根の上からまかれました。まいたもちのうち、3000個が地元産の新鮮な野菜や、津山杉を使用した木工芸品などと引き換えができる「当たりもち」。もちがまかれるたびに歓声が上がりました。また、会場では山野草展が開かれたほか、焼きたてのサンマやホタテの販売コーナーもあり、訪れた人たちは満足していました。



技の掛け方を教える古賀氏（左）と学生たち

五輪金メダリストの熱血指導

迫で古賀稔彦氏柔道教室

バルセロナ五輪金メダリストで現全日本柔道女子強化コーチの古賀稔彦氏による柔道教室（迫町柔道協会主催）が10月2日、迫体育館で開催されました。

県内外の小学生から高校生まで合わせて約300人が参加。一般の見学者も400人以上集まりました。参加者は、全日本でも取り入れている技と筋力アップを

合わせたサーキット打ち込みをした後、背負い投げなどの技掛けの指導を受けました。古賀氏は「苦しいときに頑張れる自分に負けない選手になつて欲しい」とアドバイス。

実際に古賀氏の技を受けた木村卓也くん（米山高1年）は「古賀さんは技のキレがすごかった。今日学んだことを忘れず練習に励んでいきます」と話しました。

満開のコスモスが咲き誇る

米山でコスモスまつり



歌謡・舞踊ショーで盛り上がったコスモスまつり

第6回コスモスまつり（米山町コスモスまつり実行委員会主催）が10月9日、平沼沼ふれあい公園で開催され、多くの観光客でにぎわいました。公園内のひょうたん島一面



満開に咲き誇るコスモス

には、コスモスが満開で観光客は平沼沼の秋を満喫していました。

会場には焼きそばなどの屋台も出店。特設ステージでは小牛田町の沢舞踊一座による歌や舞踊ショーが披露されました。

また、公園内の中央広場では、親子連れや近所の人たちなどが、イモ煮やパーベキューで楽しい時間を過ごしていました。

平沼沼ふれあい公園は、春は桜、夏はハスの花など、さまざまな種類の花が楽しめる自然豊かな観光名所となっています。